

第91期 報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

証券コード 6246

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message	1	トピックス	7
財務ハイライト	2	業績の概況	8
事業の概況	3	株式の状況	9
事業紹介	5	会社概要	10

株式会社 テクノスマート

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第91期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当事業年度における経済環境は、海外ではロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東情勢の緊迫化、といった地政学リスクの高まりや、米国の政権交代に伴う経済政策の変化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

わが国経済は為替変動の影響で不透明感はあるものの、景気の停滞期間を抜けて持ち直しの動きがみられました。しかし、物価高の動きは依然歯止めが効いておらず実質賃金がマイナスになる気配も見え始めています。

当社の主な販売先である電気自動車（EV）市場は、依然として需要拡大が鈍化しております。しかしながら欧州におけるEUの環境規制強化と政府のインセンティブ政策（購入補助金や税優遇措置）が今後のEVの販売促進に影響することや、生産ラインの整備、工場の新設や拡張などの製造設備への投資の動きも見られることから、中長期的なEVの需要は拡大すると見込まれております。また、車載向け全固体電池の開発が数年の間に試作品から商業化へと移行する段階にあり、自動車業界でも全固体電池を搭載したEVの計画があることからEVの普及が期待されています。

このような状況下において、当社はエネルギー関連機器で中長期的な成長が見込まれる車載用リチウムイオン電池関連の塗工乾燥装置をはじめ、全固体電池や燃料電池用塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は21,578百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は、3,512百万円（前年同期比35.7%増）、

代表取締役社長

飯田 陽弘



経常利益は3,555百万円（前年同期比35.2%増）、当期純利益は2,390百万円（前年同期比32.5%増）となりました。

受注高は、14,013百万円（前年同期比42.3%減）、その内輸出受注高は7,268百万円（前年同期比47.0%減）となりました。受注残高は24,284百万円（前年同期比23.8%減）、その内輸出受注残高は13,485百万円（前年同期比22.7%減）となりました。

EV市場の需要の鈍化を受け、当社の顧客でも設備投資の延期や様子見の動きが見られます。リチウムバッテリー関連で商談中の案件もいくつかありますが、顧客の発注時期が不透明であり、今すぐに回復基調とは言えない状態が続いています。今後の市場と顧客の動向を注視し、新エネルギーとして期待される種々の電池関連の生産機、試作機などの受注活動に注力したいと考えております。

新規受注のためには価格競争に加えて、顧客希望納期への対応が必要となりますが、半導体問題に端を発した電装機器の長納期化はかなり改善されました。納期検討においては顧客希望納期を十分に認識し、業務の効率化と生産量確保に努め、引き続いて納期短縮を進めてまいります。

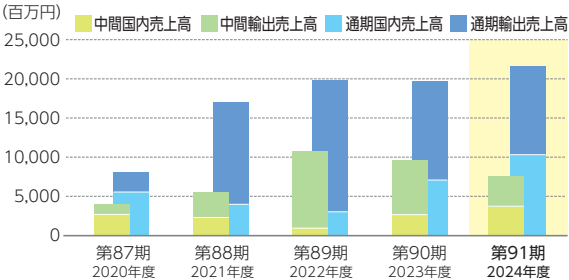
このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、全固体電池などの応用分野の開発に顧客と一緒に取り組み、5G通信向け新素材等を含めた新技術に対する情報収集とともに、積極的な取り組みにより営業展開の幅を広げてまいります。

2025年6月

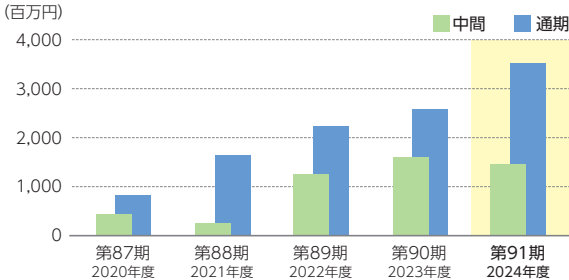
5年間の推移

売上高・各種利益とも過去最高を更新

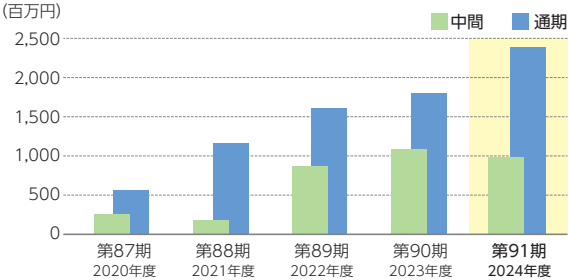
国内売上高・輸出売上高



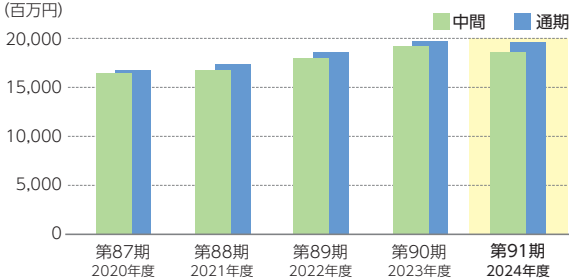
営業利益



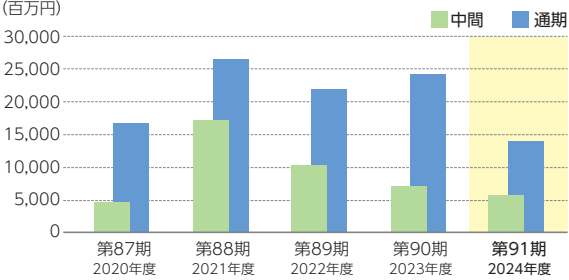
当期純利益



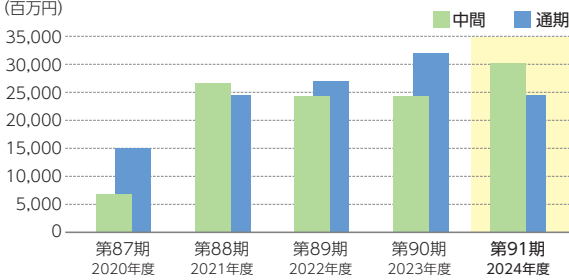
純資産額



受注高



受注残高



2026年3月期 業績予想

売上高	20,000 百万円	営業利益	3,000 百万円	当期純利益	2,000 百万円
-----	------------	------	-----------	-------	-----------

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

経営 理念

〔 経 営 理 念 〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様の発展と地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

環 境 理 念

〔 環 境 理 念 〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本 方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

独 自 理 念

〔 独 自 理 念 〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもがモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

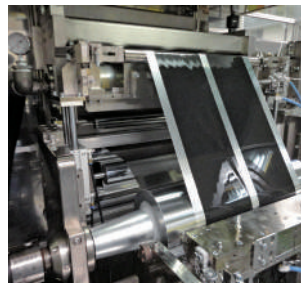
ディスプレイ部品関連機器



液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
45.6%

エネルギー関連機器



二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。

売上高比率
24.1%

機能性フィルム関連塗工機器



一般産業資材用のフィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。

売上高比率
23.9%

化工機器



高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブラフィルム用製膜関連製造装置。

売上高比率
0.1%

電子部品関連塗工機器



半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
1.8%

その他



各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。

売上高比率
4.5%

「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで、製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



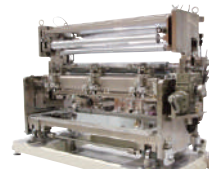
低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適用。

CEDコーター



高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

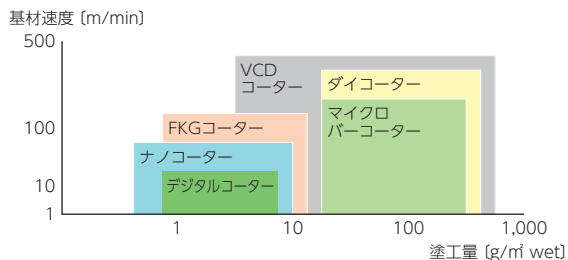
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ

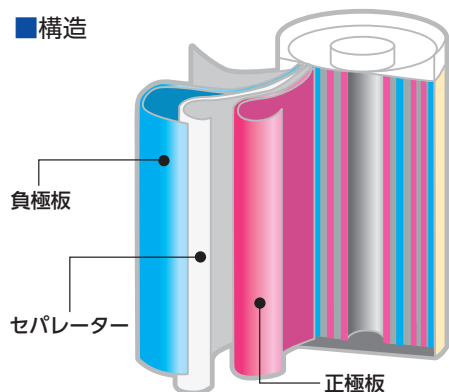


研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介 リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

- 【用途例】・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
・ノートパソコン、デジタルカメラ
・電気自動車、ハイブリッドカー 等

■構造



【二次電池 使用箇所】・正極板・負極板・セパレーター

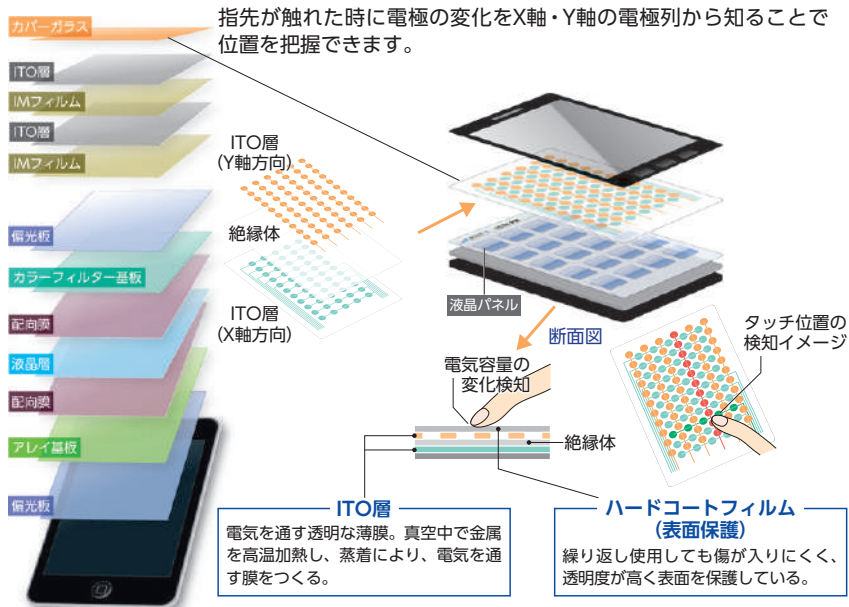
■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

タッチパネルのご紹介 ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム

▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム
- フレキシブルプリント基板

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM (インデックスマッチング) フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板 (偏光フィルム)
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

第15回 FILMTECH JAPAN [東京] – 高機能フィルム展 – 出展

2024年10月29日～31日の3日間、幕張メッセで開催された第15回 FILMTECH JAPAN – 高機能フィルム展 – に出展いたしました。

期間中は多数の方が当社ブースを訪問され、有意義な情報発信と顧客ニーズの収集ができました。



滋賀事業所 新実験棟の竣工式 テレビ放映

2024年3月より建設工事を進めてまいりました当社新実験棟（テクニカル・シナジーセンター）の完成に伴い、同年12月13日に竣工式を執り行いました。2025年3月から稼働を開始しており、お客様との共同研究開発を進め、新たな受注獲得を目指してまいります。

また、2025年1月18日放送のびわ湖放送様の「滋賀経済NOW」にて、当社滋賀事業所を取り上げていただき、竣工式の様子を中心に、当社設備や社長の飯田に対するインタビューが紹介されました。右記二次元コードより、びわ湖放送様のWebサイトにアクセスいただき、放送された動画をご視聴になれます。ぜひご覧ください。



▲竣工式



業績の概況

■貸借対照表 (2025年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	25,217,324	流動負債	10,096,165
現金及び預金	6,896,070	買掛金	2,362,799
受取手形、売掛金及び契約資産	14,557,024	電子記録債務	3,717,149
電子記録債権	2,964,185	未払法人税等	747,867
棚卸資産	518,753	前受金	1,507,987
その他	531,000	引当金	411,793
貸倒引当金	△ 249,709	その他	1,348,567
固定資産		固定負債	
有形固定資産	5,181,486	引当金	1,054,094
建物	2,459,126	資産除去債務	6,412
機械及び装置	484,280	その他	1,830,683
土地	2,001,209	負債合計	12,987,354
その他	236,870	純資産の部	
無形固定資産	29,704	株主資本	17,668,123
投資その他の資産	2,190,430	資本金	1,953,930
投資有価証券	1,908,069	資本剰余金	1,697,194
その他	132,784	利益剰余金	15,526,556
		自己株式	△ 1,509,558
		評価・換算差額等	1,963,468
		その他有価証券評価差額金	883,538
		繰延ヘッジ損益	△ 3,111
		土地再評価差額金	1,083,042
		純資産合計	19,631,592
資産合計	32,618,946	負債・純資産合計	32,618,946

■損益計算書 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
	前 期		当 期	
売 上 高	19,242,406	100.0	21,578,662	100.0
売 上 原 価	15,603,552	81.1	16,762,407	77.7
売 上 総 利 益	3,638,853	18.9	4,816,255	22.3
販売費及び一般管理費	1,050,605	5.5	1,303,766	6.0
営 業 利 益	2,588,248	13.5	3,512,488	16.3
営 業 外 収 益	58,332	0.3	65,500	0.3
営 業 外 費 用	16,169	0.1	22,366	0.1
経 常 利 益	2,630,411	13.7	3,555,622	16.5
特 別 利 益	362	0.0	307	0.0
特 別 損 失	840	0.0	440	0.0
税引前当期純利益	2,629,933	13.7	3,555,489	16.5
法 人 税 等	825,576	4.3	1,164,601	5.4
当 期 純 利 益	1,804,357	9.4	2,390,888	11.1

■キャッシュ・フロー計算書

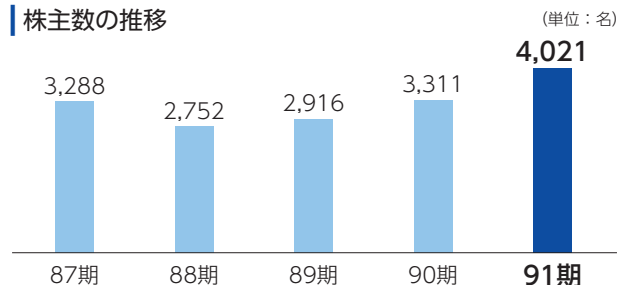
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

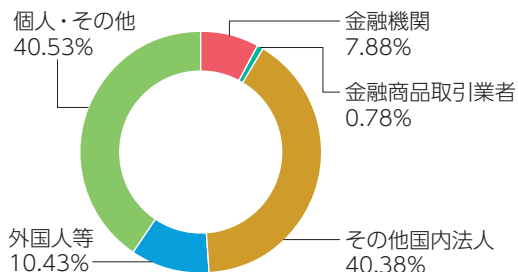
科 目	金 額	金 額
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,520,839	△ 1,532,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 291,832	△ 815,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,100,615	△ 366,848
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	128,391	△ 2,715,372
現金及び現金同等物の期首残高	9,483,051	9,611,442
現金及び現金同等物の期末残高	9,611,442	6,896,070

株式の状況 (2025年3月31日現在)

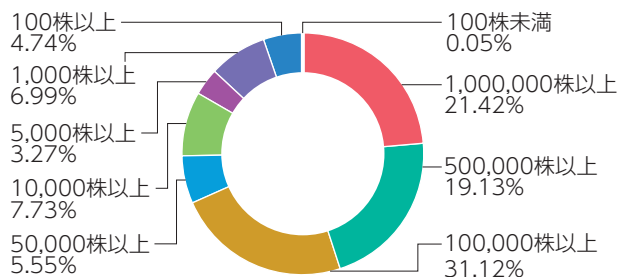
発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	12,401,720株
株主数	4,021名



所有者別株式分布



所有数別株式分布



当社株価と出来高



株主・投資家情報サイト

<https://www.technosmart.co.jp/ir/>

■ トップページ



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

社 名 株式会社テクノスマート
創 業 1912年6月15日
資 本 金 19億5,393万円
本社所在地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号 久太郎町恒和ビル2階
電 話 06-6253-7200 (代)
従 業 員 数 245名
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コー ド 6246
事 業 所 滋賀事業所〔滋賀県野洲市〕 東京支店〔東京都中央区〕



役員 (2025年6月25日現在)

代表取締役社長	飯 田 陽 弘
常務取締役	西 宮 良 材
取締役	下 村 壽 一
取締役	高 橋 要
取締役	三 沢 浩 司
取締役* 監査等委員	青 木 透
取締役* 監査等委員	岡 健 治
取締役* 監査等委員	平 松 亜 矢 子

※は社外取締役であります。

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会 6月
基 準 日 定時株主総会の議決権 3月31日
期 末 配 当 3月31日
中 間 配 当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
単 元 株 式 数 100株
公 告 方 法 電子公告により行う
公告掲載アドレス： <https://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
〔郵便物送付先/各種お問合せ先〕 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9：00～17：00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
ホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。

